

# 高棹琢馬名誉教授 著書・論文一覧

## 著書

- [1] 高棹琢馬. 水理公式集, 昭和 46 年改訂版, 基礎編・水文, 分担執筆, 土木学会, 1971.
- [2] 石原藤次郎, 高棹琢馬. 水工水理学, 9 章, 出水系とその機構, 丸善, 1972.
- [3] 高棹琢馬. 新版土木工学ハンドブック, 上巻, 第 8 編 水理学・水文学, 分担執筆, 土木学会編, 技報堂, 1974.
- [4] 金丸昭治, 高棹琢馬. 水文学, 朝倉書店, 1975.
- [5] 高棹琢馬. 水理公式集, 昭和 60 年版, 第 2 編, 水文編, 分担執筆, 土木学会, 1985.
- [6] 高棹琢馬. 水文・水資源ハンドブック, 1 章, 水文総論, 水文・水資源学会, 朝倉書店, 1997.

## 講義録

- [1] 高棹琢馬. 流出機構. 1967 年度 (第 4 回) 水工学に関する夏期研修会講義集, 土木学会水理委員会, 1967, pp. A.3.1-A.3.43.
- [2] 高棹琢馬. 流出系モデルとその解析. 1971 年度 (第 7 回) 水工学に関する夏期研修会講義集, 土木学会水理委員会, 1971, pp. A.1.1-A.1.34.
- [3] 角屋睦, 高棹琢馬. 洪水流出. 土木学会関西支部昭和 50 年度講習会テキスト, pp. 67-83, 1975.
- [4] 高棹琢馬. 流出系の同定と予測. 1982 年度 (第 18 回) 水工学に関する夏期研修会講義集, 土木学会水理委員会, 1982, pp. A.2.1-A.2.19.

## 論文

- [1] 岩垣雄一, 高棹琢馬. 降雨および流域特性が流出関係に及ぼす効果について. 京都大学防災研究所創立 5 周年記念論文集, pp. 191-200, 1956.
- [2] 石原藤次郎, 高棹琢馬. 単位図法とその適用に関する基礎的研究. 土木学会論文集, 第 60 号, pp. 1-34, 1959.
- [3] 石原藤次郎, 石原安雄, 高棹琢馬. 由良川大野ダムの洪水調節効果について. 京都大学防災研究所年報, 第 4 号, pp. 155-162, 1961.
- [4] 高棹琢馬, 岸本貞夫. 雨水流出の実験的研究. 京都大学防災研究所年報, 第 4 号, pp. 132-153, 1961.

- [5] 石原藤次郎, 石原安雄, 高棹琢馬, 頼千元. 由良川の出水特性に関する研究. 京都大学防災研究所年報, 第 5 号, pp. 147–173, 1962.
- [6] 石原藤次郎, 高棹琢馬. 中間流出現象とそれが流出過程におよぼす影響について. 土木学会論文集, 第 79 号, pp. 15–23, 1962.
- [7] T. Ishihara and T. Takasao. A study on runoff pattern and its characteristics. *Bulletin of DPRI, Kyoto Univ.*, No. 65, pp. 2–23, 1963.
- [8] T. Ishihara and T. Takasao. Applicability of unit-hydrograph method to flood prediction. *Proc. of 10th Congress of IAHR, Paris*, pp. 81–88, 1963.
- [9] 高棹琢馬. 出水現象の生起場とその変化過程. 京都大学防災研究所年報, 第 6 号, pp. 165–180, 1963.
- [10] 石原藤次郎, 高棹琢馬. 洪水流出過程の変換系について. 京都大学防災研究所年報, 第 7 号, pp. 265–279, 1964.
- [11] T. Ishihara, Y. Iwasa, and T. Takasao. Stochastic study of channel distribution in river basins. *Proc. of International Hydrology Symposium, Fort Collins*, pp. 361–369, 1967.
- [12] 高棹琢馬, 池淵周一. 長期間流出機構の情報論的研究. 京都大学防災研究所年報, 第 12 号 B, pp. 273–293, 1969.
- [13] 石原藤次郎, 高棹琢馬, 瀬能邦雄. 河道配列の統計則に関する基礎的研究. 京都大学防災研究所年報, 第 12 号 B, pp. 345–365, 1969.
- [14] 石原藤次郎, 高棹琢馬, 田中雄作. 河川上流部における水文資料の整備とその適用例. 京都大学防災研究所年報, 第 13 号 B, pp. 53–68, 1970.
- [15] 高棹琢馬, 瀬能邦雄. ダム群による洪水調節に関する研究 (I). 京都大学防災研究所年報, 第 13 号 B, pp. 83–103, 1970.
- [16] T. Ishihara, T. Takasao, and S. Ikebuchi. A study on the long range runoff system responses. *Transactions of JSCE*, Vol. 3, pp. 198–199, 1971.
- [17] 石原藤次郎, 高棹琢馬, 池淵周一. 長期間流出機構解析法に関する 2, 3 の考察. 土木学会論文集, 第 196 号, pp. 45–55, 1971.
- [18] T. Ishihara and T. Takasao. Transformation system in flood runoff phenomena. *Proc. of United States-Japan Bi-Lateral Seminar in Hydrology Honolulu*, pp. 1–25, 1971.
- [19] T. Ishihara, T. Takasao, and S. Ikebuchi. Identification and prediction for the long range runoff systems. *Memories of the Faculty of Engineering, Kyoto University*, Vol. XXXIV, Part2, pp. 201–220, 1972.
- [20] 池淵周一, 高棹琢馬. 流体解析 (II). 土木学会誌, 11 月号, pp. 77–87, 1972.
- [21] 高棹琢馬. 流出系の分析と同定について. 第 16 回水理講演会講演集, pp. 116–120, 1972.
- [22] 高棹琢馬, 池淵周一. シヤノン流情報理論からみた水文現象の不確定構造. 第 19 回

- 水理講演会論文集, pp. 65–69, 1975.
- [23] 高棹琢馬, 池淵周一, 小尻利治. 水量制御からみたダム群のシステム設計に関する DP 論的研究. 土木学会論文集, 第 241 号, pp. 39–50, 1975.
- [24] 高棹琢馬, 池淵周一. 降水観測がもたらす情報量とその観測網配置計画への応用. 土木学会論文集, 第 234 号, pp. 83–95, 1975.
- [25] T. Takasao, S. Ikebuchi, and M. Shiiba. The analysis of the stream network in the river basin and its application to the flood runoff simulation. *Publication n' 117 l'Association Internationale des Sciences Hydrologiques Symposium de Tokyo*, pp. 239–246, 1975.
- [26] T. Takasao and S. Ikebuchi. Study on the stochastic structures of the long term runoff system. *Publication n' 117 l'Association Internationale des Sciences Hydrologiques Symposium de Tokyo*, pp. 343–350, 1975.
- [27] T. Takasao and M. Shiiba. A study on the runoff system model based on the topographical framework of river basin. *Transactions of JSCE*, Vol. 8, pp. 138–140, 1976.
- [28] T. Takasao, S. Ikebuchi, and T. Kojiri. An approach to the adaptive flood control by multi-reservoir systems. *Memories of the Faculty of Engineering, Kyoto University*, Vol. XXXVIII, Part 3, pp. 103–116, 1976.
- [29] 高棹琢馬, 椎葉充晴. 河川流域の地形構造を考慮した出水系モデルに関する研究. 土木学会論文集, 第 248 号, pp. 69–82, 1976.
- [30] 高棹琢馬, 池淵周一. 分布型線形応答モデルによる長期流出予測. 第 20 回水理講演会講演集, pp. 9–14, 1976.
- [31] T. Takasao and S. Ikebuchi. System dynamics approach to the water resources systems. *Transactions of JSCE*, Vol. 9, pp. 111–113, 1977.
- [32] 高棹琢馬, 池淵周一, 椎葉充晴. 河道網構造を考慮した河川流域の出水解析に関する研究. 京都大学防災研究所年報, 第 20 号 B-2, pp. 185–199, 1977.
- [33] 高棹琢馬, 池淵周一. 水の需給構造に関するシステムダイナミクス論的研究. 土木学会論文集, 第 259 号, pp. 55–70, 1977.
- [34] 高棹琢馬, 池淵周一, 小尻利治. ダム群制御システムにおける分割化基準と河道流下の非線形. 京都大学防災研究所年報, 第 20 号 B-2, pp. 169–183, 1977.
- [35] 高棹琢馬ら. 確率統計水文学への展望. 土木学会誌, 1977.
- [36] 高棹琢馬, 池淵周一. 不確定現象のエントロピー的解釈. 土木学会誌, 5 月号, pp. 81–90, 1978.
- [37] 高棹琢馬, 椎葉充晴. Kinematic Wave 法における場および定数の集中化. 京都大学防災研究所年報, 第 21 号 B-2, pp. 207–217, 1978.
- [38] 高棹琢馬, 池淵周一, 小尻利治. 多ダム多評価地点系の最適操作に関する研究. 京都

- 大学防災研究所年報, 第 21 号 B-2, pp. 193–206, 1978.
- [39] 高棹琢馬, 椎葉充晴. Kinematic Wave 法に基づく流出計算法の総合化について. 京都大学防災研究所年報, 第 22 号 B-2, pp. 225–236, 1979.
- [40] 高棹琢馬, 池淵周一, 小尻利治. 濁質水を考慮したダム制御に関する一考察. 京都大学防災研究所年報, 第 22 号 B-2, pp. 167–178, 1979.
- [41] 高棹琢馬, 池淵周一. 洪水の時空間生起確率算定法とその治水計画への適用. 京都大学防災研究所年報, 第 22 号 B-2, pp. 179–194, 1979.
- [42] 高棹琢馬, 椎葉充晴. 流出システムのフィルタリングと予測. 自然災害シンポジウム, 第 16 巻, pp. 133–136, 1979.
- [43] S. Ikebuchi and T. Takasao. Stochastic aspects on the runoff system and model making based on the concept of entropy. *Third International Symposium on Stochastic Hydraulics*, pp. 177–188, 1980.
- [44] M. Shiiba and T. Takasao. Filtering and prediction of runoff systems. *Third International Symposium on Stochastic Hydraulics*, pp. 83–93, 1980.
- [45] 高棹琢馬, 椎葉充晴. 状態空間法による流出予測. 京都大学防災研究所年報, 第 23 号 B-2, pp. 211–226, 1980.
- [46] 高棹琢馬, 池淵周一, 小尻利治. 治水利水を包含した貯水池操作に関する一考察. 京都大学防災研究所年報, 第 23 号 B-2, pp. 279–291, 1980.
- [47] 高棹琢馬, 池淵周一. エントロピー的にみた降雨流出変換特性とそのモデル化. 京都大学防災研究所年報, 第 23 号 B-2, pp. 193–209, 1980.
- [48] 高棹琢馬, 池淵周一, 小尻利治. ダム貯水池の多目的多期間操作. 自然災害シンポジウム, 第 17 巻, pp. 225–228, 1980.
- [49] 高棹琢馬, 椎葉充晴. 流出システムのフィルタリングと予測 (第 2 報). 自然災害シンポジウム, 第 17 巻, pp. 213–216, 1980.
- [50] S. Ikebuchi, T. Takasao, and T. Kojiri. Real-time operation of reservoir systems including flood, low flow and turbidity controls. *Experience in Operation of Hydrosystems*, pp. 25–46, 1981.
- [51] 高棹琢馬, 池淵周一, 小尻利治. 入力の変率分布特性を考慮したダム貯水池操作. 京都大学防災研究所年報, 第 24 号 B-2, pp. 109–123, 1981.
- [52] 高棹琢馬, 椎葉充晴. Kinematic Wave 法への集水効果の導入. 京都大学防災研究所年報, 第 24 号 B-2, pp. 159–170, 1981.
- [53] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 宝馨. 確率論的な流出予測に関する研究 —有色ノイズの導入—. 京都大学防災研究所年報, 第 24 号 B-2, pp. 125–142, 1981.
- [54] 高棹琢馬, 池淵周一, 寒川典昭. エントロピーモデルに関する 2, 3 の考察. 京都大学防災研究所年報, 第 24 号 B-2, pp. 143–158, 1981.

- [55] 高棹琢馬. 洪水流出の予知に関する一考察. 天気, Vol. 28, pp. 283–289, 1981.
- [56] T. Kojiri, S. Ikebuchi, and T. Takasao. Optimal planning of flood control systems based on screening, simulation and sequential models. *Bulletin of the Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University*, Vol. 32, pp. 209–227, 1982.
- [57] 高棹琢馬, 池淵周一, 小尻利治. 水系一貫した治水計画の策定に関する研究. 京都大学防災研究所年報, 第 25 号 B-2, pp. 285–296, 1982.
- [58] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 宝馨. 貯留モデルによる実時間流出予測に関する基礎的研究. 京都大学防災研究所年報, 第 25 号 B-2, pp. 245–267, 1982.
- [59] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 宝馨. 洪水流出の確率予測におけるモデルと手法. 第 19 回自然災害科学総合シンポジウム, pp. 63–66, 1982.
- [60] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 宝馨. 集中型流出モデルの構成と流出予測手法. 京都大学防災研究所年報, 第 25 号 B-2, pp. 221–243, 1982.
- [61] 高棹琢馬, 池淵周一, 小尻利治. ダム貯水池における利水時のオンライン・リアルタイム操作. 第 26 回水理講演会論文集, pp. 379–385, 1982.
- [62] 高棹琢馬, 池淵周一, 小尻利治. システム論的に見たダム貯水池群の最適操作とその実操作への適用. 第 2 回水資源に関するシンポジウム前刷集, pp. 257–262, 1982.
- [63] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 宝馨. 流域地形効果を導入した雨水流モデル. 水資源研究センター研究報告, 第 2 号, pp. 23–29, 1982.
- [64] 高棹琢馬, 椎葉充晴. 地形パターン関数を導入した洪水流出モデル. 第 26 回水理講演会論文集, pp. 217–222, 1982.
- [65] 高棹琢馬. 気象災害に関する極値・集中豪雨. 土木学会誌, 第 68 巻, 第 10 号 (9 月号), pp. 7–11, 1983.
- [66] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 宝馨. 複合流域における洪水流出の確率予測手法. 京都大学防災研究所年報, 第 26 号 B-2, pp. 181–196, 1983.
- [67] 高棹琢馬, 池淵周一, 寒川典昭. 長期流出系のエントロピーモデル. 土木学会論文集, 第 337 号, pp. 111–117, 1983.
- [68] 高棹琢馬, 池淵周一, 小尻利治. 低水時における実時間ダム貯水池操作のシステム論的研究. 京都大学防災研究所年報, 第 26 号 B-2, pp. 287–301, 1983.
- [69] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 中北英一. レーダー雨量計による短時間降雨予測の検討. 京都大学防災研究所年報, 第 26 号 B-2, pp. 165–180, 1983.
- [70] K. Takara, M. Shiiba, and T. Takasao. A stochastic method of real-time flood prediction in a basin consisting of several sub-basins. *Journal of Hydroscience and Hydraulic Engineering*, Vol. 1, No. 2, pp. 93–111, 1983.
- [71] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 宝馨. 流出モデル評価への情報量基準の導入について. 京都大学防災研究所年報, 第 27 号 B-2, pp. 275–290, 1984.

- [72] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 富澤直樹. 統計的二次近似理論を適用した流出予測システムの構成. 京都大学防災研究所年報, 第 27 号 B-2, pp. 255–273, 1984.
- [73] 椎葉充晴, 高棹琢馬, 中北英一. 移流モデルによる短時間降雨予測手法の検討. 第 28 回水理講演会論文集, pp. 349–354, 1984.
- [74] 高棹琢馬, 池淵周一, 小尻利治. ダム, 堰を含む貯水池システムの操作. 第 28 回水理講演会論文集, pp. 45–50, 1984.
- [75] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 宝馨. リアルタイム洪水予測のソフト, システム. 第 21 回自然災害科学総合シンポジウム, pp. 303–306, 1984.
- [76] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 宝馨, 中北英一. 移流モデルによる豪雨予測手法の改良とその適用. 第 21 回自然災害科学総合シンポジウム, pp. 267–270, 1984.
- [77] T. Takasao and M. Shiiba. Development of techniques for on-line forecasting of rainfall and flood runoff. *Natural Disaster Science*, Vol. 6, No. 2, pp. 83–112, 1984.
- [78] 宝馨, 高棹琢馬, 椎葉充晴. 洪水流出の確率予測における実際的手法. 第 28 回水理講演会論文集, pp. 415–422, 1984.
- [79] 高棹琢馬, 椎葉充晴. 雨水流モデルの集中化に関する基礎的研究. 京都大学防災研究所年報, 第 28 号 B-2, pp. 213–220, 1985.
- [80] 高棹琢馬, 宝馨, 楠橋康広. 洪水流出モデルの確率過程的評価に関する研究. 京都大学防災研究所年報, 第 28 号 B-2, pp. 221–235, 1985.
- [81] 高棹琢馬, 宝馨, 楠橋康広. 貯留関数型洪水流出モデルの比較評価. 第 29 回水理講演会論文集, pp. 245–250, 1985.
- [82] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 中北英一, 張昇平. Kinematic Wave モデルの集中化. 第 29 回水理講演会論文集, pp. 239–244, 1985.
- [83] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 宝馨. リアルタイム洪水予測のモデルと手法. 水資源研究センター報告, 第 5 号, pp. 19–31, 1985.
- [84] K. Takara and T. Takasao. A new attempt to evaluate rainfall-runoff models from the viewpoint of stochastic transformation. *Journal of Hydroscience and Hydraulic Engineering*, Vol. 3, No. 2, pp. 61–72, 1985.
- [85] 高棹琢馬, 宝馨, 清水章. 琵琶湖流域水文データの基礎的分析. 京都大学防災研究所年報, 第 29 号 B-2, pp. 157–171, 1986.
- [86] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 張昇平. 表面流, 飽和, 不飽和地中流相互干渉機構の分析モデル. 京都大学防災研究所年報, 第 29 号 B-2, pp. 253–269, 1986.
- [87] T. Takasao. Modeling and forecasting of runoff processes in river basins. *Proc. of 5th Congress APD IAHR, Seoul*, pp. 113–149, 1986.
- [88] 中北英一, 高棹琢馬, 椎葉充晴. 河道網系 Kinematic Wave モデルの集中化. 京都大学防災研究所年報, 第 29 号 B-2, pp. 217–232, 1986.

- [89] 椎葉充晴, 高棹琢馬, 張昇平, 児玉好史. 統計的二次近似手法を用いたダム貯水池実時間操作. 第 31 回水理講演会論文集, pp. 293–298, 1987.
- [90] 高棹琢馬(土木学会水理委員会 流出現象の物理機構に関する研究小委員会 委員長). 物理水文学における最近の進歩. 土木学会論文集, 第 387 号/II-8, pp. 39–56, 1987.
- [91] 宝馨, 高棹琢馬, 清水章. 水文統計解析における確率分布モデルの評価. 京都大学防災研究所年報, 第 30 号 B-2, pp. 283–297, 1987.
- [92] 宝馨, 高棹琢馬, J. A. Barriga. Kalman フィルタを用いた流出予測における状態量とノイズの取り扱いについて. 第 31 回水理講演会論文集, pp. 113–118, 1987.
- [93] 張昇平, 児玉好史, 椎葉充晴, 高棹琢馬. 統計的二次近似によるダム貯水池群の実時間操作. 京都大学防災研究所年報, 第 30 号 B-2, pp. 299–321, 1987.
- [94] 中北英一, 筒井雅行, 池淵周一, 高棹琢馬. 3次元レーダー雨量計情報の利用に関する基礎的研究. 京都大学防災研究所年報, 第 30 号 B-2, pp. 265–282, 1987.
- [95] T. Takasao and K. Takara. Evaluation of rainfall–runoff models from the stochastic viewpoint. *Journal of Hydrology*, Vol. 102, pp. 381–406, 1988.
- [96] T. Takasao, M. Shiiba, and S. P. Zhang. Development of a real-time multireservoir control scheme using statistical second-order approximation. In *Proc. of the 6th Congress of Asian and Pacific Division of International Association for Hydraulic Research*, pp. 445–452, 1988.
- [97] T. Takasao, M. Shiiba, and S. P. Zhang. A coupled runoff model of overland flow and saturated-unsaturated subsurface flow. In *Proc. of the 6th Congress of Asian and Pacific Division of International Association for Hydraulic Research*, pp. 103–110, 1988.
- [98] T. Takasao and K. Takara. Optimization of operation rules for water supply reservoirs and coping with droughts. In *Proc. of the 6th Congress of Asian and Pacific Division of International Association for Hydraulic Research*, pp. 413–420, 1988.
- [99] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 堀智晴. 洪水制御支援のためのエキスパートシステムに関する基礎的検討. 京都大学防災研究所年報, 第 31 号 B-2, pp. 357–368, 1988.
- [100] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 立川康人. 流域微地形に対応した準 3 次元流出モデル. 京都大学防災研究所年報, 第 31 号 B-2, pp. 341–355, 1988.
- [101] 高棹琢馬, 宝馨, 清水章. 水文頻度解析モデルの母数推定法と確率水文学の変動性–3 母数対数正規分布について–. 京都大学防災研究所年報, 第 31 号 B-2, pp. 287–296, 1988.
- [102] 高棹琢馬, 宝馨, 三谷祐次郎, 笛田俊治. レーダー雨量の逐次補正とその洪水予測への適用. 京都大学防災研究所年報, 第 31 号 B-2, pp. 241–254, 1988.
- [103] T. Takasao and M. Shiiba. Incorporation of the effect of concentration of flow into the

- kinematic wave equations and its applications to runoff system lumping. *Journal of Hydrology*, Vol. 102, pp. 301–322, 1988.
- [104] K. Takara and T. Takasao. Evaluation criteria for probability distribution models in hydrologic frequency analysis. In *Proc. of the 5th IAHR International Symposium on Stochastic Hydraulics*, 1988.
- [105] 宝馨, 高棹琢馬. 水文頻度解析における確率分布モデルの評価基準. 土木学会論文集, 第 393 号/II-9, pp. 151–160, 1988.
- [106] 宝馨, 高棹琢馬, 溝淵伸一, 杉原宏章. コンピュータを用いた水文地形解析序論. 京都大学防災研究所年報, 第 31 号 B-2, pp. 325–340, 1988.
- [107] 宝馨, 高棹琢馬, 溝淵伸一. 水文地形解析の自動化の試み. 第 32 回水理講演会論文集, pp. 25–30, 1988.
- [108] 中北英一, 椎葉充晴, 池淵周一, 高棹琢馬. 3 次元レーダー雨量計情報の利用に関する基礎的研究 (II). 京都大学防災研究所年報, 第 31 号 B-2, pp. 231–240, 1988.
- [109] 中北英一, 筒井雅行, 池淵周一, 高棹琢馬. 降雨分布特性の気象力学的解析. 第 32 回水理講演会論文集, pp. 13–18, 1988.
- [110] 中北英一, 筒井雅行, 池淵周一, 高棹琢馬. 降雨分布特性の気象力学的解析. 京都大学防災研究所年報, 第 31 号 B-2, pp. 209–229, 1988.
- [111] 中北英一, 椎葉充晴, 池淵周一, 高棹琢馬. 三次元レーダー雨量計情報の可視化. 土木学会論文集, 第 393 号/II-9, pp. 161–169, 1988.
- [112] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 立川康人. 流域微地形に対応した準 3 次元斜面要素モデルと流域規模モデルの自動作製. 第 33 回水理講演会論文集, pp. 139–144, 1989.
- [113] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 立川康人, 山口昌利. 流域地形構造を考慮した流域場モデルの自動生成. 京都大学防災研究所年報, 第 32 号 B-2, pp. 415–433, 1989.
- [114] 高棹琢馬, 宝馨, 溝淵伸一, 杉原宏章. 国土数値情報を用いた水文地形解析に関する基礎的研究. 京都大学防災研究所年報, 第 32 号 B-2, pp. 435–454, 1989.
- [115] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 堀智晴, 佐々木秀紀. 分散協調問題解決モデルを用いた洪水制御支援システムの設計. 京都大学防災研究所年報, 第 32 号 B-2, pp. 401–413, 1989.
- [116] T. Takasao, M. Shiiba, and T. Hori. Design of a flood control support system based on a distributed knowledge-base model. In *Proc. of Pacific International Seminar on Water Resources Systems*, pp. 272–287, 1989.
- [117] T. Takasao, M. Shiiba, and K. Takara. Stochastic state-space techniques for flood runoff forecasting. In *Proc. of Pacific International Seminar on Water Resources Systems*, pp. 117–132, 1989.
- [118] 高棹琢馬, 宝馨, 三谷裕次郎. 洪水予測精度向上のためのレーダー雨量の逐次補正について. 第 33 回水理講演会論文集, pp. 103–108, 1989.

- [119] 宝馨, 高棹琢馬, 清水章. 極値分布の母数推定法の比較評価. 京都大学防災研究所年報, 第 32 号 B-2, pp. 455–469, 1989.
- [120] 宝馨, 高棹琢馬. 「水文頻度解析における確率分布モデルの評価基準」への討議・回答. 土木学会論文集, 第 405 号/II-11, pp. 265–272, 1989.
- [121] 中北英一, 椎葉充晴, 池淵周一, 高棹琢馬. 3次元レーダー雨量計情報の利用に関する基礎的研究 (III). 京都大学防災研究所年報, 第 32 号 B-2, pp. 351–361, 1989.
- [122] 中北英一, 村田啓, 池淵周一, 高棹琢馬. 不安定場のモデル化と降雨分布の再現. 京都大学防災研究所年報, 第 32 号 B-2, pp. 337–350, 1989.
- [123] E. Nakakita, M. Shiiba, S. Ikebuchi, and T. Takasao. Advanced use into rainfall prediction of three-dimensionally scanning radar. In *Proc. of Pacific International Seminar on Water Resources Systems*, pp. 353–368, 1989.
- [124] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 堀智晴, 佐々木秀紀. 協調問題解決型洪水制御支援環境の設計. 水工学論文集, 第 34 巻, pp. 595–600, 1990.
- [125] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 劉春燕. 洪水ハイドログラフの確率予測. 京都大学防災研究所年報, 第 33 号 B-2, pp. 231–239, 1990.
- [126] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 堀智晴. 流出予測精度を基準とした降雨, 流量観測システムの設計に関する基礎的検討. 京都大学防災研究所年報, 第 33 号 B-2, pp. 213–230, 1990.
- [127] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 劉春燕, 上林好之. 降雨流出の実時間予測情報の形式について. 水工学論文集, 第 34 巻, pp. 79–84, 1990.
- [128] T. Takasao, M. Shiiba, and T. Hori. A flood control support system based on a distributed knowledge-base model –integrated use of production system and fuzzy inference system–. *Fifth International Conference on Urban Storm Drainage*, pp. 209–214, 1990.
- [129] 宝馨, 高棹琢馬. 水文頻度解析モデルの母数推定法の比較評価. 水工学論文集, 第 34 巻, pp. 79–84, 1990.
- [130] K. Takara and T. Takasao. Evaluation of hydrologic frequency analysis models based on quantile variability obtained by resampling methods. *Fifth International Conference on Urban Storm Drainage*, Vol. 2, pp. 587–592, 1990.
- [131] 中北英一, 椎葉充晴, 池淵周一, 高棹琢馬. 3次元レーダーを利用した降雨予測手法の開発. 水工学論文集, 第 34 巻, pp. 91–96, 1990.
- [132] 中北英一, 山浦克仁, 椎葉充晴, 池淵周一, 高棹琢馬. 3次元レーダー情報を用いた降雨生起場の推定と降雨予測手法の開発. 京都大学防災研究所年報, 第 33 号 B-2, pp. 193–212, 1990.
- [133] E. Nakakita, M. Shiiba, S. Ikebuchi, and T. Takasao. Advanced use into rainfall pre-

- diction of three-dimensionally scanning radar. *Stochastic Hydrology and Hydraulics*, Vol. 4, pp. 135–150, 1990.
- [134] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 立川康人. 分布型流出モデル構築のための流域地形の数値モデルに関する研究. 京都大学防災研究所年報, 第 34 号 B-2, pp. 163–175, 1991.
- [135] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 立川康人. TIN-DEM データ形式による流域地形の表現について. 水工学論文集, 第 35 巻, pp. 75–80, 1991.
- [136] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 堀智晴. 水害避難行動シミュレーションのためのマイクロモデルの開発. 人工知能学会研究会資料, pp. 125–134, 1991.
- [137] 宝馨, 高棹琢馬, 杉原宏章. 数値地形情報に基づく河川流域のフラクタル次元について. 水工学論文集, 第 35 巻, pp. 135–142, 1991.
- [138] K. Takara, T. Kojiri, S. Ikebuchi, and T. Takasao. A simulation study on catchment response change due to global warming. In *Environmental Hydraulics*, J. H. W. Lee and Y. K. Cheng (eds.), pp. 1451–1456, 1991.
- [139] E. Nakakita, M. Shiiba, S. Ikebuchi, and T. Takasao. Advanced use in rainfall prediction of a three-dimensionally scanning radar. *Hydrological Application of Weather Radar*, I. C. Clukie and C. G. Coliie (eds.), pp. 391–401, 1991.
- [140] T. Kojiri, T. Takasao, and Y. Kanbayashi. Fuzzy expert system of reservoir operation with typhoon and rainfall prediction. *Artificial Intelligence in Engineering*, Vol. 7, pp. 531–548, 1992.
- [141] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 堀智晴. 洪水制御支援のための知識構成と獲得法に関する一考察. 水文, 水資源研究のための AI 技術の利用に関するシンポジウム論文集, pp. 25–32, 1992.
- [142] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 立川康人, 大江郁夫. TIN-DEM データ形式を用いた流域場情報システムの開発. 水工学論文集, 第 36 巻, pp. 677–684, 1992.
- [143] T. Takasao, M. Shiiba, C.Y. Liu, and Y. Kanbayashi. The style of on-line rainfall-runoff forecasting information. *Journal of Hydroscience and Hydraulic Engineering*, Vol. 9, No. 2, pp. 73–80, 1992.
- [144] T. Takasao, M. Shiiba, and T. Hori. Micro model simulation and control of flood refuge actions. *Artificial Intelligence in Engineering*, pp. 1049–1065, 1992.
- [145] T. Takasao, M. Shiiba, T. Hori, and H. Sasaki. A flood control support environment based on cooperating knowledge-based systems. *Journal of Hydroscience and Hydraulic Engineering*, Vol. 9, No. 2, pp. 81–90, 1992.
- [146] 中北英一, 澤田典靖, 川崎隆行, 池淵周一, 高棹琢馬. 不安定場モデルをベースにした 3次元レーダー情報による短時間降雨予測手法. 京都大学防災研究所年報, 第 35 号 B-2, pp. 483–507, 1992.

- [147] 中北英一, 田中実, 椎葉充晴, 池淵周一, 高棹琢馬. 3次元レーダーエコー強度情報を用いた水蒸気相変化量と大気3次元風速の同時推定手法. 水工学論文集, 第36巻, pp. 483–488, 1992.
- [148] E. Nakakita, S. Ikebuchi, N. Sawada, M. Shiiba, and T. Takasao. A short-term rainfall prediction method using reflectivity detected by three-dimensionally scanning radar. *Proc. of 2nd Int. Symp. on Hydrological Application of Weather Radar*, Vol. F1, 1992.
- [149] E. Nakakita, S. Ikebuchi, M. Tanaka, M. Shiiba, and T. Takasao. Estimation of three-dimensional wind velocity and conversion rate of water vapor using reflectivity detected by three-dimensionally scanning radar. *Proc. of 2nd Int. Symp. on Hydrological Application of Weather Radar*, Vol. C4, 1992.
- [150] S. Ikebuchi, E. Nakakita, K. Takara, M. Shiiba, and T. Takasao. A review of the related research on flood runoff forecasting. In *Proc. of Workshop on Observations/Forecasting of Meso-scale Severe Weather and Technology of Reduction of Relevant Disasters*, pp. 205–216, 1993.
- [151] T. Takasao, M. Shiiba, and Y. Tachikawa. Real-time integrated operating system of retarding basin sluice ways. *IAHS Publ.*, No. 213, pp. 403–410, 1993.
- [152] T. Takasao, M. Shiiba, and T. Hori. Flood refuge action model considering changing process of inhabitant's consciousness. In *Proceedings of XXV Congress of International Association for Hydraulic Research*, Volume II, pp. 656–663, 1993.
- [153] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 堀智晴. 住民意識の変化過程を考慮した水害避難行動モデルの設計. 水工学論文集, 第37巻, pp. 239–244, 1993.
- [154] T. Takasao, M. Shiiba, and Y. Tachikawa. A flood runoff prediction method considering the uncertainty of the lag time parameter. In *Proc. of the Third ROC and Japan Joint Seminar on Natural Hazards Mitigation*, pp. 170–179. Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University and Tainan Hydraulics Laboratory, National Cheng-Kung University, 1993.
- [155] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 立川康人, 森田健太郎. 河道の実時間水位予測を用いた遊水地樋門操作. 水工学論文集, 第37巻, pp. 81–86, 1993.
- [156] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 堀智晴, 鈴木俊朗. 流出シミュレーションモデル構成の新しい枠組み. 水工学論文集, 第37巻, pp. 805–808, 1993.
- [157] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 立川康人. 河川水位実時間予測手法の開発とその遊水地樋門操作への応用. 京都大学防災研究所年報, 第36号 B-2, pp. 241–253, 1993.
- [158] E. Nakakita, N. Murata, S. Ikebuchi, M. Shiiba, and T. Takasao. Fundamental investigation for estimating three-dimensional wind velocity in wide area using reflectivity information from spaceborne radar. *Proc. of 26th Int. Conf. on Radar Meteorology* ,

*American Meteorological Society*, pp. 424–426, 1993.

- [159] E. Nakakita, S. Ikebuchi, M. Shiiba, and T. Takasao. Advanced uses of volume scanning radar. In *Proc. of the Third ROC and Japan Joimt Seminar on Natural Hazards Mitigation*, pp. 317–331. Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University and Tainan Hydraulics Laboratory, National Cheng-Kung University, 1993.
- [160] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 市川温. 分布型流出モデルのスケールアップ. 水工学論文集, 第 38 巻, pp. 809–812, 1994.
- [161] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 堀智晴. 洪水制御支援のためのメタ知識の構成と利用法. 京都大学防災研究所年報, 第 37 号 B-2, , 1994.
- [162] T. Takasao, M. Shiiba, and T. Hori. Hierarchical structuring of knowledge-based systems for flood control supporting. *Artificial Intelligence in Engineering*, Vol. 9, pp. 379–386, 1994.
- [163] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 立川康人, 宝馨. 衛星搭載合成開口レーダデータによる流域地表面特性の把握に関する基礎的検討. 京都大学防災研究所年報, 第 37 号 B-2, pp. 195–207, 1994.
- [164] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 立川康人. 河川水位実時間予測手法の開発と木津川上流域への適用. 土木学会論文集, 第 503 号/II-29, pp. 19–27, 1994.
- [165] Y. Tachikawa, M. Shiiba, and T. Takasao. Development of a basin geomorphic information system using a TIN–DEM data structure. *Water Resources Bulletin*, Vol. 30, No. 1, pp. 9–17, 1994.
- [166] 立川康人, 栖原聖二, 椎葉充晴, 高棹琢馬, 宝馨. 流域地表面における衛星搭載合成開口レーダデータの特性について. 水工学論文集, 第 38 巻, pp. 759–764, 1994.
- [167] Y. Tachikawa, M. Shiiba, T. Takasao, and K. Takara. Extraction of catchment physical characteristics by use of synthetic aperture radar for distributed hydrological modeling. *Proc. of Symp. on GEWEX in Asia –GAME*, pp. 2.10–2.13, 1994.
- [168] T. Takasao, M. Shiiba, and E. Nakakita. A real-time estimation of short-term rainfall prediction using radar. *Stochastic and Statistical Methods in Hydorology and Environmental Engineering*, K.W. Hipel (ed.), Vol. 2, pp. 339–351, 1994.
- [169] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 市川温. 構造的モデリングシステムを用いた流出シミュレーション. 水工学論文集, 第 39 巻, pp. 141–146, 1995.
- [170] T. Takasao, M. Shiiba, and Y. Tachikawa. Operating system for retarding basin sluice ways using real-time stage prediction. *JHHE*, Vol. 13, No. 1, pp. 63–70, 1995.
- [171] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 堀智晴, 立川康人, 市川温. 流出系の構造的モデル化システムについて. 京都大学防災研究所年報, 第 38 号 B-2, pp. 395–406, 1995.
- [172] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 立川康人, 藤田暁, ニルパマ. 流出現象の時間スケールに関する

- 研究. 京都大学防災研究所年報, 第 38 号 B-2, pp. 381–394, 1995.
- [173] T. Takasao, M. Shiiba, T. Hori, Y. Tachikawa, and Y. Ichikawa. A new framework for simulating river basin runoff. *Proc. of the second international study conferemce on GEWEX in Asia and GAME*, pp. 256–259, 1995.
- [174] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 堀智晴. 湧水時貯水池操作における意志決定基準の曖昧生と流量予測精度との相互関係分析モデルの構築. 京都大学防災研究所年報, 第 38 号 B-2, pp. 365–380, 1995.
- [175] T. Takasao, M. Shiiba, and T. Hori. Modeling of inhabitants' consciousness on flood disasters for flood control supporting. *Journal of Hydrosience and Hydraulic Engineering*, Vol. 13, No. 1, pp. 71–79, 1995.
- [176] 高棹琢馬, 椎葉充晴, 堀智晴. 水害避難行動のミクロモデルシミュレーションと制御に関する研究. 土木学会論文集, 第 509 号/II-30, pp. 15–25, 1995.
- [177] 立川康人, 藤田暁, 椎葉充晴, 高棹琢馬. 河川流量系列の単位時間間隔と流域流積の関係に関する分析. 水工学論文集, 第 39 巻, pp. 115–120, 1995.
- [178] Y. Tachikawa, M. Shiiba, and T. Takasao. An analysis of a relationship between time scale of hydrological response and catchment scale. *Proc. of the second international study conferemce on GEWEX in Asia and GAME*, pp. 252–255, 1995.
- [179] Nirupama, Y. Tachikawa, M. Shiiba, and T. Takasao. Estimation of river discharge using Xinanjiang model. *Proc. of Hydraulic Engineering, JSCE*, Vol. 39, pp. 252–255, 1995.
- [180] 中北英一, 中川勝広, 池淵周一, Baxter E. Vieux, 高棹琢馬. 雨滴粒径分布の鉛直プロフィールを利用したレーダー雨量推定手法の構築. 京都大学防災研究所年報, 第 38 号 B-2, pp. 291–302, 1995.
- [181] E. Nakakita, S. Ikebuchi, K. Nakagawa, T. Sato, B. Vieux, and T. Takasao. Utilization of vertical profile of dsd into bulding up an algorithm for estimating ground rainfall amount using radar. *Proc. of III Int. Symp. on Hydrological Applications of Weather Radar*, pp. 375–384, 1995.
- [182] T. Takasao, M. Shiiba, and Y. Ichikawa. A runoff simulation with structural hydrological modeling system. *JHHE*, Vol. 14, No. 2, pp. 47–55, 1996.
- [183] 高棹琢馬, 堀智晴, 荒木千博. 貯水池操作システム総合化のためのダム操作規則参照推論エンジンの設計. 水工学論文集, 第 40 巻, pp. 57–62, 1996.
- [184] M. Shiiba, Y. Ichikawa, S. Ikebuchi, Y. Tachikawa, and T. Takasao. Scale-up of a runoff model using gis and an object-oriented hydrological modelling system. *IAHS publication*, No. 235, pp. 263–70, 1996.
- [185] 椎葉充晴, 市川温, 柴田研, 榊原哲由, 村上将道, 高棹琢馬. 構造的モデリングシステ

- ムにおける要素間反復計算の実現と河道網流れの追跡計算への適用. 京都大学防災研究所年報, 第 39 号 B-2, pp. 383–398, 1996.
- [186] 立川康人, 小南佳明, 椎葉充晴, 高棹琢馬. 貯留関数パラメータの不確定さを考慮した実時間流出予測手法. 水工学論文集, 第 40 巻, pp. 317–322, 1996.
- [187] Y. Tachikawa, M. Shiiba, and T. Takasao. TIN-based topographic modeling and runoff prediction using a basin geomorphic information system. *IAHS publication*, No. 235, pp. 225–232, 1996.
- [188] Y. Tachikawa, Nirupama, M. Shiiba, and T. Takasao. A simple water balance model for a mesoscale catchment considering soil water storage capacity distribution. In *Proc. of the international workshop on macro-scale hydrological modeling, Nanjing, China, 15th–17th May*, pp. 141–144, 1996.
- [189] Nirupama, Y. Tachikawa, M. Shiiba, and T. Takasao. A simple water balance model for a mesoscale catchment based on heterogeneous soil water storage capacity. *Bulletin of DPRI, Kyoto University*, Vol. 45, parts 2, 3, No. 391, pp. 61–83, 1996.
- [190] Nirupama, Y. Tachikawa, A. Fujita, M. Shiiba, and T. Takasao. Development of hydrologic and geographic data base for yodo river basin. *Proc. of Hydraulic Engineering, JSCE*, Vol. 40, pp. 101–106, 1996.
- [191] 市川温, 椎葉充晴, 高棹琢馬. 地形特性と状態量の空間的分布を考慮した流出系モデルのスケールアップ. 京都大学防災研究所年報, 第 39 号 B-2, pp. 399–414, 1996.
- [192] Y. Ichikawa, M. Shiiba, S. Ikebuchi, Y. Tachikawa, and T. Takasao. Lumping a runoff model taking account of spatial distributions of topographic characteristics and state variables. In *Proc. of the international workshop on macro-scale hydrological modeling, Nanjing, China, 15th–17th May*, pp. 7–10, 1996.
- [193] K. Takara, T. Takasao, and K. Tomosugi. Possibility and necessity of paradigm shift in hydrologic frequency analysis. *Proc. of the International Conference on Water Resources and Environment Research: Towards the 21st Century, October 29-31, 1996, Kyoto, Japan, Water Resources Research Center, Kyoto University*, Vol. I, pp. 435–442, 1996.
- [194] 中北英一, 杉本聡一郎, 池淵周一, 中村徹立, 奥田昌弘, 山路昭彦, 高棹琢馬. 3次元レーダーおよびG P Vデータを用いた短時間降雨予測手法. 水工学論文集, 第 40 巻, pp. 303–308, 1996.
- [195] E. Nakakita, S. Ikebuchi, T. Nakamura, M. Kanmuri, M. Okuda, A. Yamaji, and T. Takasao. Short-term rainfall prediction method using a volume scanning radar and gpv data from numerical weather prediction. *Journal of Geophysical Research*, Vol. 101, No. D21, pp. 26,181–26,197, 1996.

- [196] 中川勝広, 中北英一, 池淵周一, 佐藤亨, Baxter E. Vieux, 高棹琢馬. 降雨の3次元構造を考慮したレーダー雨量推定手法の構築. 水工学論文集, 第40巻, pp. 297–302, 1996.
- [197] K. Nakagawa, E. Nakakita, S. Ikebuchi, T. Sato, and T. Takasao. Formulation of vertical profile of rain drop size distribution. *Proc. of the Int. Conf. on Water Resources and Environment Research: Towards the 21st Century*, Vol. 1, pp. 651–658, 1996.
- [198] 立川康人, 片岡武, 椎葉充晴, 高棹琢馬. 衛星 SAR データとマイクロ波表面散乱機構の理論モデルを用いた地表面粗度パラメータの抽出. 水工学論文集, 第41巻, pp. 993–938, 1997.
- [199] 立川康人, 椎葉充晴, 高棹琢馬. 三角形要素網による流域地形の数値表現に関する研究. 土木学会論文集, 第558巻/II-38, pp. 45–60, 1997.
- [200] 立川康人, 椎葉充晴, 原井真一, 高棹琢馬. 衛星搭載合成開口レーダデータによる空気力学的粗度の推定の試み. 水文・水資源学会誌, Vol. 10, No. 2, pp. 144–153, 1997.